

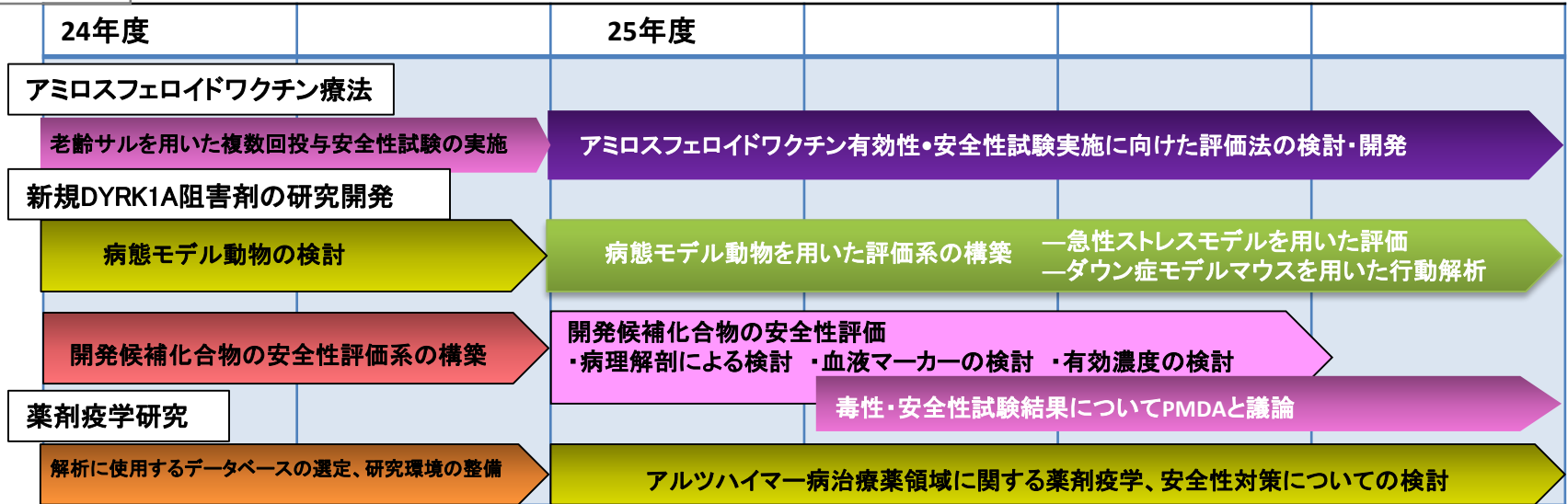
革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業(平成25年度成果)

国立大学法人 京都大学大学院医学研究科

本研究推進の意義

アルツハイマー病に対する能動ワクチン・低分子医薬品に関する有効性・安全性の評価方法は国内では確立されていないため、本研究を強力に推進する必要がある。

ロードマップ



成果

アミロスフェロイドワクチン療法

- アミロスフェロイドワクチン有効性・安全性試験実施に向けた評価法の検討・開発
- ・ワクチン投与少数高齢サルの体液・組織サンプル解析
 - ・ワクチン投与予定多数サルのスクリーニング・サンプル解析方法の決定

新規DYRK1A阻害剤の研究開発

- 病態モデル動物を用いた評価系の構築/病態解析
- ・急性ストレスモデル
 - ・ダウン症モデルマウス(Ts65Dn)

- 動物モデルを用いたその妥当性の検証
- ・病理解剖による検討・有効濃度の検討
 - ・毒性・安全性試験結果についてPMDAと議論



➡ アカデミア創薬のロードマップの確立を目指す。

薬剤疫学研究

- アルツハイマー病治療薬領域に関する薬剤疫学、安全性対策についての検討
- ・アルツハイマー病を対象とした臨床試験の最近の動向に関する調査
 - ・アルツハイマー病に関する臨床試験の適格基準についての検討

人材交流

1. PMDAから京都大学大学院医学研究科への訪問(2013年4月, 8月, 11月, 2014年1月)
2. 新沢助教(薬剤疫学)がPMDAに定期交流(2014年3月より)
3. 専門家による非臨床試験・毒性学セミナーの開催(2013年4月, 8月)
4. アカデミア・民間製薬企業からの専門家2名を外部委員として選定

社会への発信

- 萩原正敏教授が第23回日本臨床精神神経薬理学会・第43回日本神経精神薬理学会合同年會シンポジウムにて講演(2013年10月、沖縄)
- 萩原正敏教授・星美奈子准教授が第6回アジアエイジングカンファレンス(AACL)にて講演(2013年11月、京都)
- 川上浩司教授らがアンチ・エイジング医学誌に発表(2014年2月)
- 星美奈子准教授が第28回老年精神医学会(2013年6月、大阪)にて基調講演、第13回日本蛋白質科学会年會(2013年6月、鳥取)にて招待講演